

平成 25 年度 日本/ユネスコパートナーシップ事業

『海の博物館と海女小屋』見学会の参加者募集について

1. 目的

本学は、私達とその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような様々な問題について考え、立ち向かい、解決する持続可能な開発のための ESD (ESD: Education for Sustainable Development) の視点を取り入れた環境教育プログラムを担う人材づくりを推進しています。

平成 26 年 11 月に開催予定の「ESD in 三重」に向けて、ESD の基本的な考え方“世界遺産や地域文化等に関する教育”について三重県特有の海女文化の魅力を理解し、体験することで次世代まで継続していく担い手を育成することを目的とします。

2. 日時

平成 26 年 1 月 11 日 (土) 8 時 30 分～17 時 30 分 (予定)

※交通状態等で、予定時間より遅れることがあります。

3. 内容

(1) 海の博物館の見学と石原館長の講演

海の博物館は「海女文化」をユネスコの無形文化遺産に登録することを推進しています。石原館長から伊勢神宮と深いつながりのある海女文化について話を聞きます。

(2) 海女小屋の見学と海女さんから海女の暮らしや文化を聞く

三重県は全国の海女数の半数近い男女が今も活躍しています。海女小屋の見学と海女さんの暮らしや海を相手にした仕事の面白さや大変さについて話を聞きます。

(3) 答志島海底ケーブルの視察

離島に電気を送電するために、敷設されている答志島の海底ケーブルを“エネルギー環境教育”として鳥羽市北端から視察します。



ESDの概念図

4. 行程 (コース) ※出発時間、厳守

場所	三重大学 (正門前) : 出発	海の博物館 (鳥羽市浦村町)	昼食
時間	8 時 30 分	10 時 30 分～12 時 30 分	12 時 40 分～13 時 10 分

— 上記より続き —

海女小屋 (鳥羽市国崎町)	答志島の海底ケーブル	三重大学 (正門前) : 到着
13 時 40 分～14 時 30 分	15 時 30 分～15 時 50 分	17 時 30 分

5. 参加資格

三重大学の教職員及び学生
(ESD in 三重の主旨に賛同していただける方)

6. その他

先着順 15 名。全てバスで移動します。参加費無料
食事は各自で用意してください (※昼食時に食事ができる店舗は近くにありません。)

7. 申込み先・問合せ先

三重大学 環境管理推進センター支援室 (環境・情報科学館 1 階) 担当者: 池村
電話番号: 059-231-9823・9223 (内線: 2185)

「参加申込書」に必要事項を記入し、環境管理推進センター支援室へ持参していただくかメール (jimukyoku@mie-u.ac.jp) で提出してください。